

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう今津		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スケジュールの可視化や掲示物による視覚支援を取り入れ、子どもが見通しを持って過ごせる構造化環境づくりができています。清掃・消毒も徹底され、安心して過ごせる環境が整っています。	毎日2回のミーティングを実施し、PDCAサイクルを意識した振り返り・改善を行っています。記録も徹底され、支援の検証につながっています。	職員採用を進め、人員配置に余裕を持たせることで支援の質をさらに高めています。
2	個別支援計画の作成・共有・見直しが非常に丁寧で、カンファレンスを通じて全職員が共通理解を持った支援を実施しています。計画に沿った支援が安定して提供されています。	活動が固定化しないよう、他事業所やSNSも参考にしながら新しい企画を取り入れています。子どもの興味関心を反映した活動づくりができています。	家族支援プログラムや保護者参加型研修を企画し、家族支援を強化していきます。
3	保護者満足度が高く、「専門性のある支援」「計画に沿った支援」「子どもが楽しみにしている」との評価が多く見られます。特に満足度項目はほぼ全員が肯定評価です。	安全管理体制が整っており、BCP・各種マニュアル整備・避難訓練・虐待防止研修を継続しています。	地域交流や地域に開かれた活動機会を増やしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置数について、従業者評価では「十分でない」との認識があり、人員体制が課題です。	人員不足により、企画や個別対応に制約が出る場合があります。	採用強化と人員配置の見直しを進めます。
2	第三者評価や外部スーパーバイズの実施が現時点ではありません。	地域交流は調整や安全配慮が必要で、実施ハードルがあります。	段階的に地域交流や外部連携を広げます。
3	家族支援プログラムや保護者交流機会が十分に実施できていません。	家族支援は企画・日程調整の難しさがあります。	保護者参加型イベントを企画し、家族支援を強化します。